

■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」



■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」



■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」



■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」



■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」



■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」



■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」



■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」



■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」



■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」



■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」



■ 手法名・ワーク名称



1. 学びの活めめ「学びを、削いで、3つ化」

- ・
- ・
- ・

2. 用途を想起「これ、どんな場面で使える？」

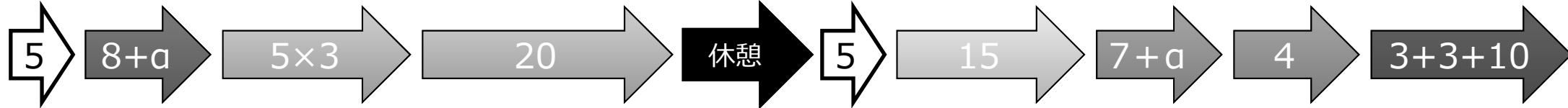


アイデア創出の授業方法

(所要時間：50分×2コマ)

(ここは、4人組が複数ある状態で進行する)

(ここは、教室全体を一つの集団として進行する)



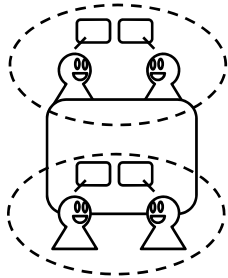
設定 発想1

テーマ紹介
(及び、状況の設定)

一人発想の時間
アイデアでなくても
思いつくことはメモ書きする

(考えを書き出すと次の考えが思い浮かぶ余地が生まれる)

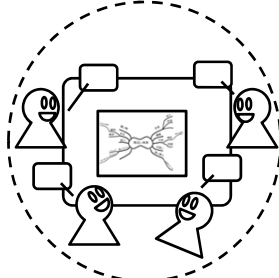
発想2



ペアで、雑談的にアイデアを話し合う

5分×3回
(横、縦、斜)

共有・醸成



4人で、アイデアを出し合い、アイデアをすべてマインドマップで書き留める

(アイデアの共有の間に、新しいアイデアを出すことも自由に)

休憩

他の班のものを
見たり、たずねたりしてもOK。
発想の材料を増やすことは推奨される

5
4分
絵心
教室

発想3

自分なりのアイデア・スケッチを描く
(個人個人)

(マインドマップに描かれたことはアイデアの素材として使ってよい)

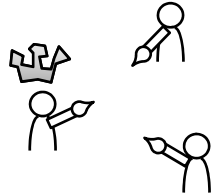
抽出

魅力的なアイデアに☆をつけて回る
(全机を回る)

表現a

上位5案のレビュー
(書いた人がプレゼン)

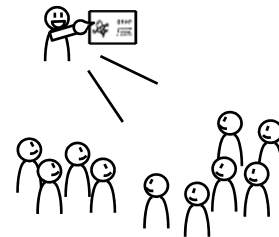
表現b



周囲三人で集まりそれぞれプレゼン。最も良い人を指す。

勝ち残った人で更に。

ファイナリストは全体プレゼン。



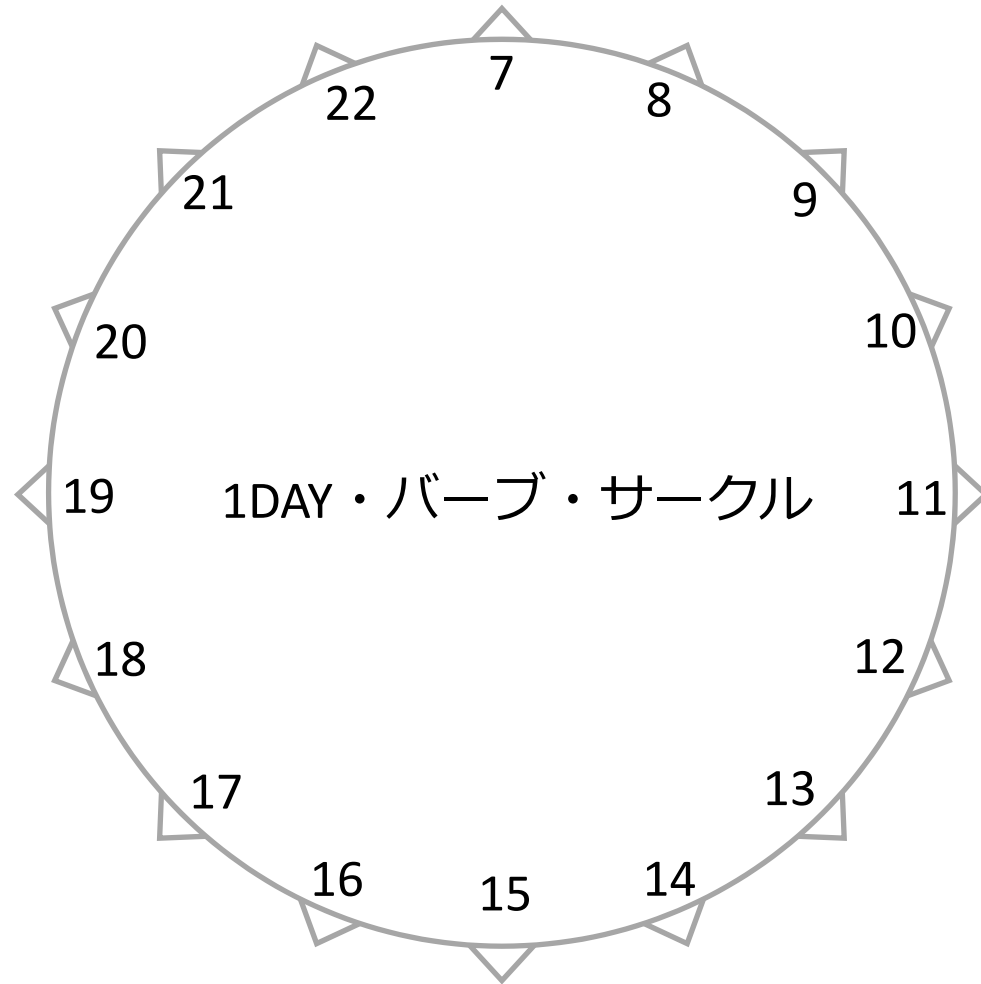
マインドマップ作業を上手くやるコツ

- 思いついたことは、ためらわないで、すべて書いていく
(ごちゃごちゃしたり、線が交差してもOK)
- 途中から口もはさんで分岐してどんどん書く
(アイデアは分岐する！という特性がある)
- 削るのは後回し。他の人の意見も、自分のも、否定しないで場に出す
(新たに書いたところから、たくさん枝が伸びるかもしれない)
- 枝がたくさん流入している枝だけでなく、ほとんど伸びていない枝からも、分岐を作ってみる

(大きなタイムスケールなら)

- 月曜日
- 火曜日
- 水曜日
- 木曜日
- 金曜日
- 土曜日
- 日曜日
- 春
- 梅雨
- 夏
- 休暇
- 秋
- Xmas～正月
- 冬

(一日の行動を「動詞」で振り返り「困った」「願った」を探す)



「目の付け所」の転換

